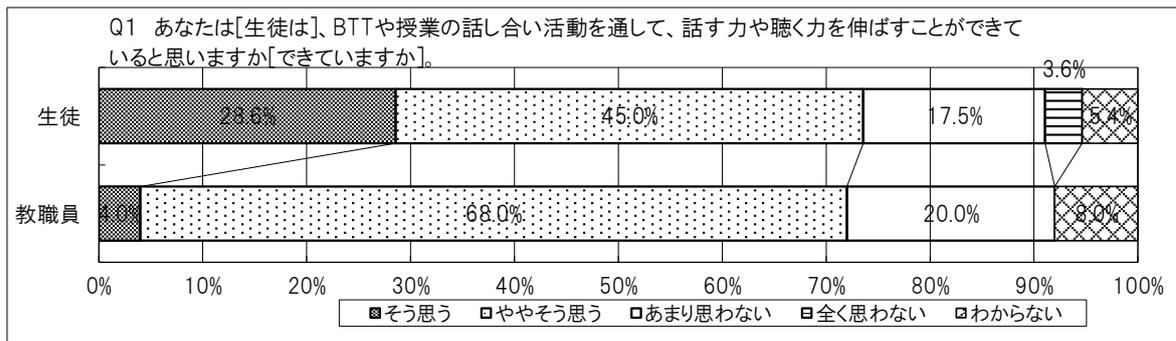


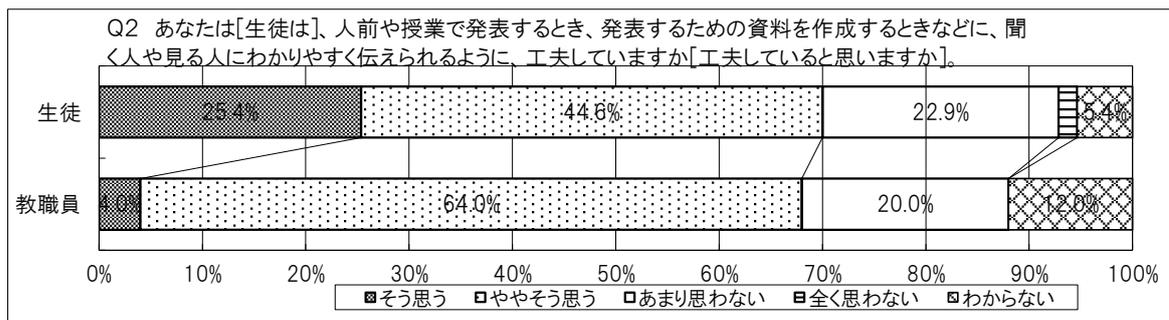
令和2年度 7月学校評価について

○生徒がよりよい教育活動を受けられることを目指し、「学校をよりよくする」ために、学校評価アンケートを行っています。

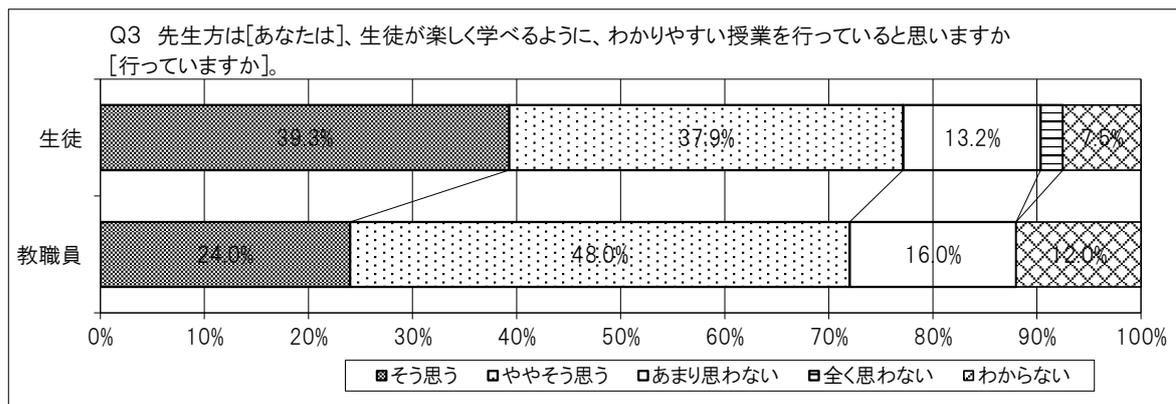
<全校生徒、教職員アンケート結果>



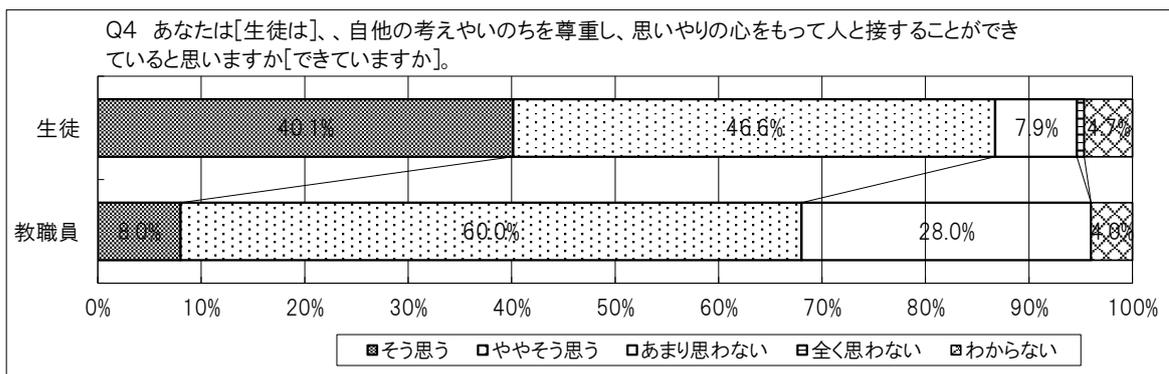
週1回、BTTで話し合い活動を行っています。授業でも自分の考えを発表できる生徒が増えてきましたが、お互いの考えを深めるという点では、まだ十分とは言えません。今後も話し合う場面を多く取り入れ、更に「話す力」「聴く力」を伸ばしていきます。



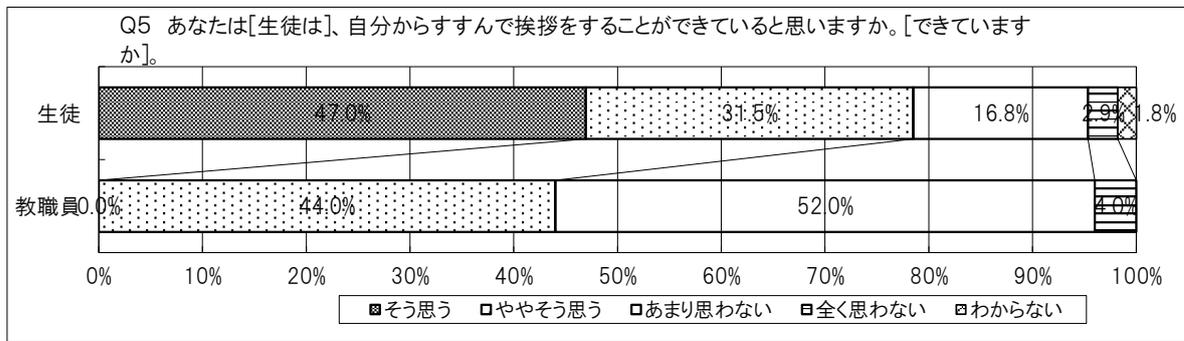
7割の生徒が、自分の考えを相手にわかりやすく伝えるための工夫をしています。工夫することで、発表する側も聞く側もお互いに自分の考えを深めることができます。他者と関わり合うことで、更に深い学びへとつないでいきます。



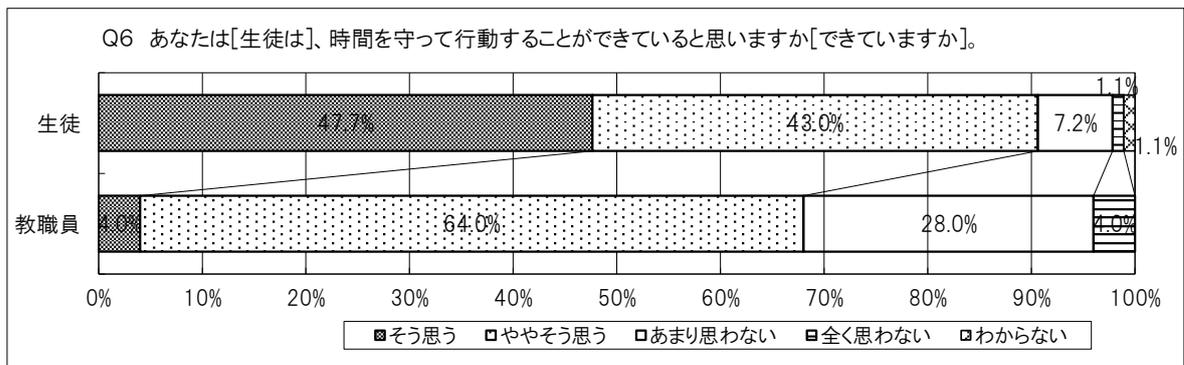
約8割の生徒が、楽しく学べている、わかりやすいと授業に対して肯定的な評価でした。これからも生徒が「理解できてうれしい」、「もっと知りたい」、と思えるような授業づくりに努めていきます。



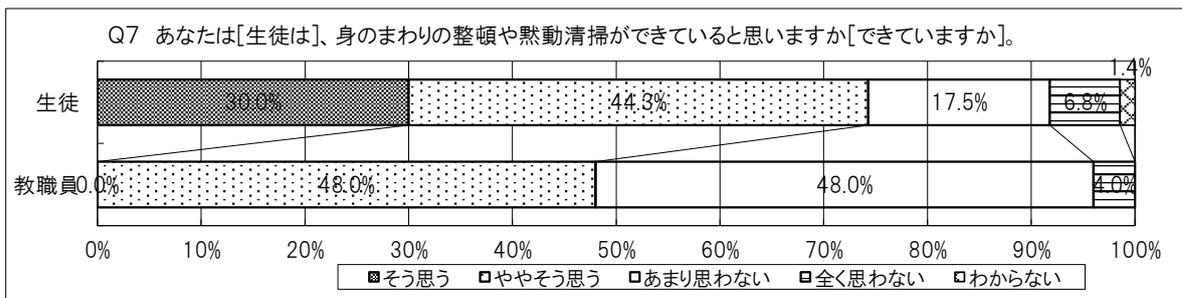
肯定的な回答の生徒が約9割いました。道徳の授業や学校生活のさまざまな場面でいのちを大切にし、他者のことを尊重する心が育ってきています。更に、豊かな心を育てる教育活動を進めていきます。



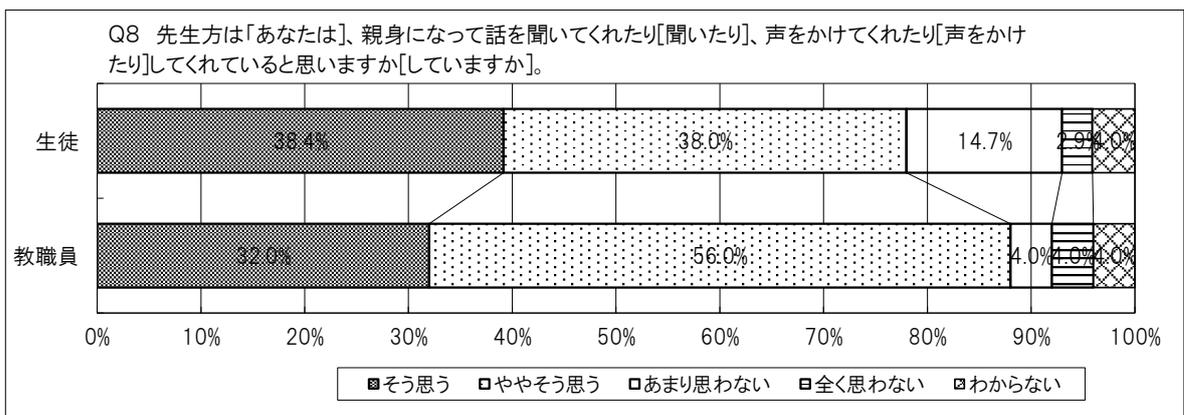
生徒の自己評価はたいへん高いのですが、教師の評価はかなり厳しい結果になっています。授業の挨拶はしっかりできる生徒が多いですが、「自らすすんで」というところは課題です。出会った人に自然に挨拶ができるように、「挨拶の意義」について考える場面も作っていきます。



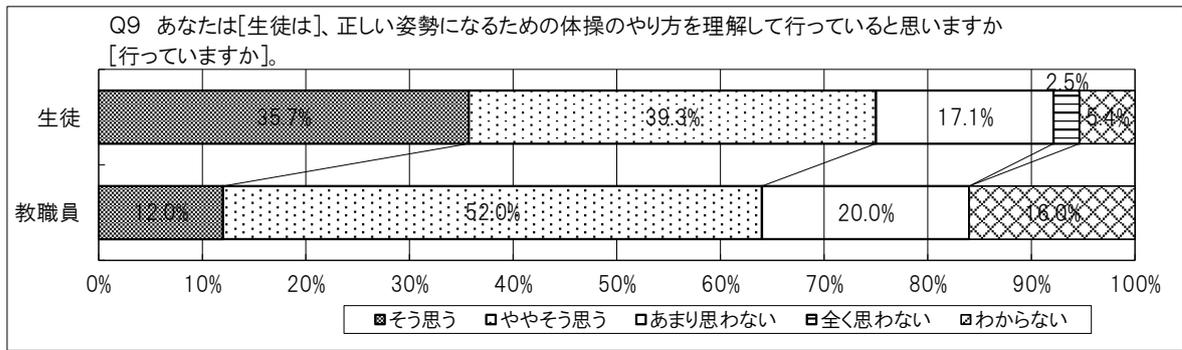
9割以上の生徒が、時間を守って生活していると答えています。いろいろな場面で時間を意識し、生徒どうしで声をかけ合っている場面も見られます。授業や放課などの時間はかなり意識できていますが、部活動などでも時間を意識していけるよう声をかけていきます。



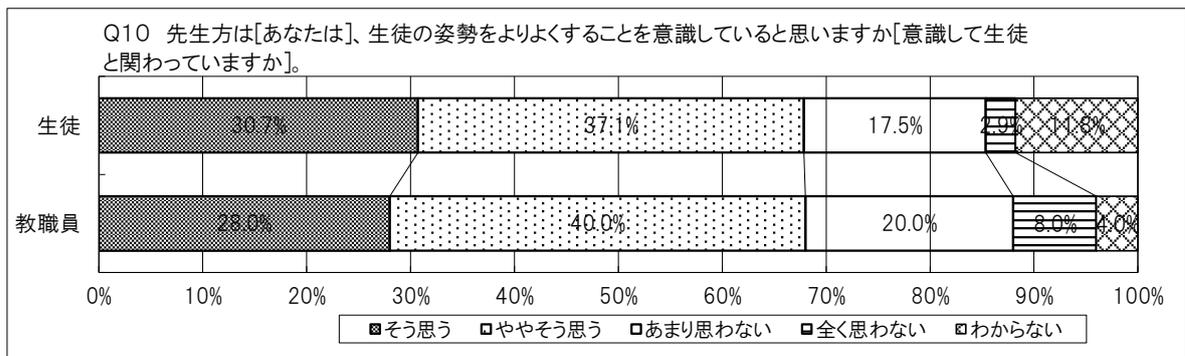
生徒と教職員では結果に大きな差があります。「生活三つの心づかい」の中の一つとして、「美化」については清掃時間に限らず、身のまわりの整頓も含め、きれいな環境で生活できるよう、生徒の意識を高めていきます。



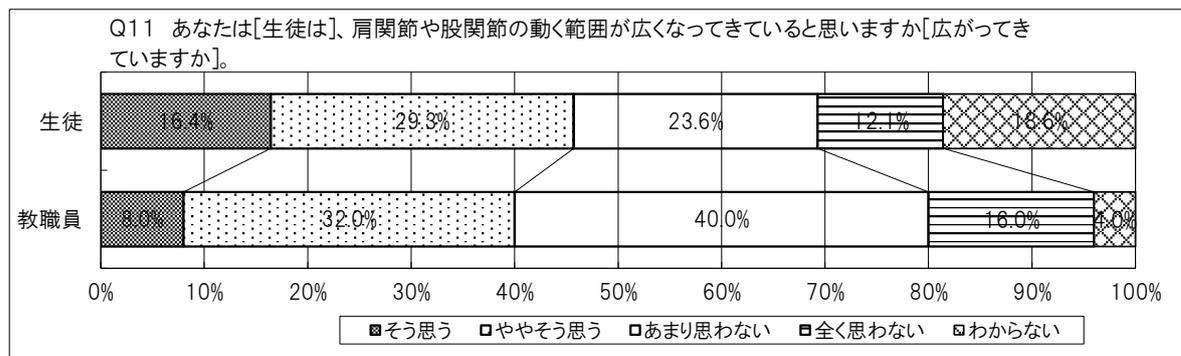
約8割の生徒が先生は話を聞いてくれたり、声をかけてくれたりしていると答えています。毎日の生活で、授業中はもちろん、登校時や放課など、さまざまな場面でコミュニケーションを図り、心の絆を深めていきます。



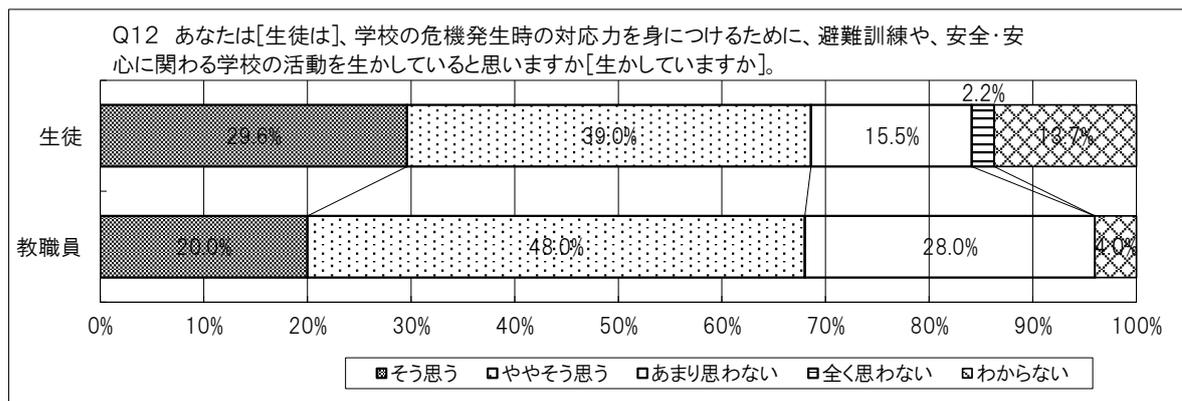
昨年度けがをする生徒が多かったため、今年度は、理学療法士に授業や部活動に参加していただき、正しい姿勢で生活できるよう指導していただいています。やることの意義、やり方をしっかり確認したうえで、毎朝一日のスタートに、全員で体操を行っています。



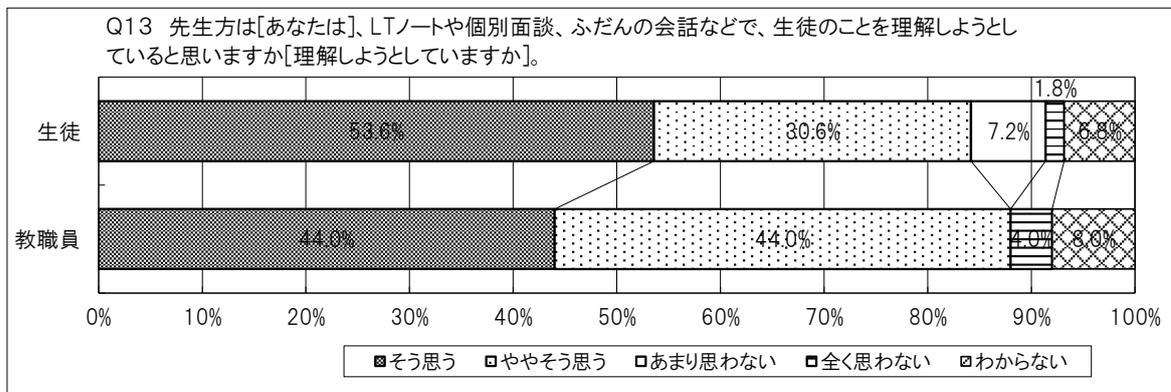
生徒、職員の約7割が姿勢をよくしようと意識しています。朝の体操の場面では意識していても、授業中の座り方や話を聞くとときの姿勢など、気になることはあります。その都度声をかけて意識を高めていきます。



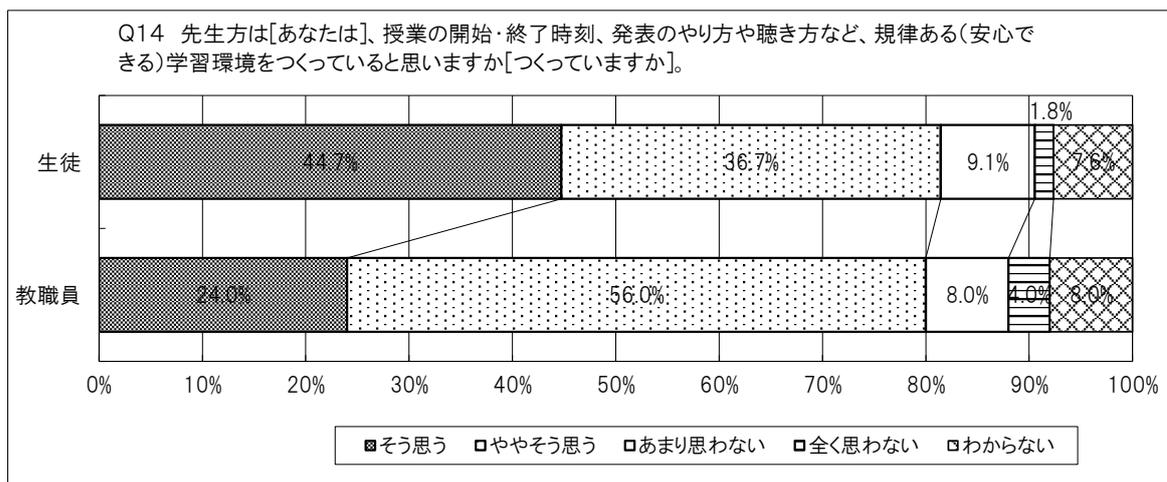
3か月余の継続した取り組みで、少しずつ体に変化が出始めるはずですが、今後も理学療法士にアドバイスをいただきながら、関節がスムーズに動くようになるトレーニングを取り入れて、けがをしにくい体づくりに努めます。



約7割の生徒が学校の活動を生かして安全に生活できていると思っています。しかし、知識は身につけていても、それを生活に生かすという点では不十分だと感じる場面もあります。とっさのときに正しい判断ができるように、今後も働きかけていきます。



生徒の8割以上が「先生方が自分たちのことを理解しようとしている」と思っています。今後も常に生徒に寄り添い、面談等の時間を確保し、更に生徒理解に努めていきたいと思ひます。



8割以上の生徒が「そう思う」と答えています。規律ある落ち着いた環境の中で、学習に臨んでいる結果だと思ひます。更に発表の仕方、話の聴き方などを工夫し、生徒が満足できる授業づくりに努めていきます。